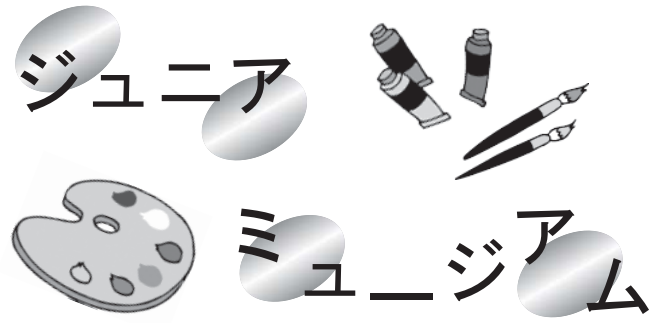


五月の中ごろに、わたしが温水プールに歩いていこうとしたら、金沢小の卒業生の中学一年生の三人に会いました。とてもびっくりしました。三人とも、中学のせいふくがとてもにあつていて、明るく元気に感じました。

「友だちつていいな」

山口実沙紀さん



わたしは、きょう年まで、三人とはあまり話をしたことがなかったのですが、心の中で、「あいさつをしようかな。でも、どんなあいさつをしたらいいかな。」とまよって、ドキドキしていました。

すると、三人は、

「実沙紀ちゃん、がんばってね。わたしもがんばるからね。」

と声をかけてくれたり、ほほえんで手をふったりしてくれました。わたしは、なんだか心がほかほかあたたまってきて、

「ありがとう。」

とかえました。

わたしは、それから長いれんしゅうがあつたので、「がんばるぞ。」というやる気が出てきました。とてもうれしかったです。

わたしは、「声をかけてくれる友だちつていいな。」と思いました。毎日会っていると、気にならないけれど、ひさしぶりに会った友だちに声をかけてもえらんととてもうれしいものだなと思いました。

わたしも、そういうやさしいところをみないといけないと思いました。

今度、また三人に会えた時には、わたしから声をかけられるようにします。

(評) 心がドキドキしたようすや、うれしかった気もちがよくつたわってくる文ですね。

佐藤 舞さん



(評) 「おれ」と「はね」の筆使いの練習でかいた字です。字形を整え書きました。



「ぶうる」

野巻昂平くん

(評) プールでたからさがし、たのしいですね。のびのびと、かいています。

「はじめてのシャワー」

設楽竜矢くん

(評) 6年生といっしょの楽しいプール開きの様子が大きく描けました。

